

安全報告書 2020

(2019年度分)



株式会社 札幌振興公社

株式会社札幌振興公社 安全報告書

大倉山ジャンプ競技場リフト(単線固定循環式特殊索道)
藻岩山ロープウェイ(複線交走式普通索道)

2019年度分

(自：2019年4月1日 至：2020年3月31日)

目次

ご利用の皆様へ		1
1	安全方針	1
2	安全目標・安全重点施策	2
3	事故等の発生状況	2～3
1	索道運転事故	2
2	インシデント	2
3	行政指導等	2
4	強風・雷・大雪・その他による運休の状況	2
4	輸送の安全確保のための取組み	3～8
1	安全統括会議及び現場巡回	3
2	安全教育	3～4
3	安全目標・安全重点施策への取組み	5～7
4	藻岩山ロープウェイ搬器衝突事故再発防止の取組みの進捗状況	7
5	2020年度整備計画	7
5	安全管理体制	8
1	安全管理体制	8
2	ご感想・ご意見について	8

ご利用の皆様へ

当社の索道事業に対しまして、日頃からご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

当社は、2019年8月24日、藻岩山ロープウェイにおいて運行中の搬器が支柱に衝突するという事故を発生させてしまい、お怪我をされたお客様や当日ご利用、ご来場いただいておりますお客様には、大変ご迷惑をお掛けしましたことを心から深くお詫び申し上げます。

二度とこのような事故を繰り返すことがないように、索道輸送の安全確保のため、整備実施体制・社内安全管理体制・専門人材の育成などの改善を継続的に進め安全確保に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社
代表取締役社長 板垣 昭彦

1 安全方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための「安全方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底し輸送の安全に取り組んでいます。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いを行います。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

安全方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期するため掲げました、2019年度の安全目標・安全重点施策は次のとおりです。

《目標1》「安全最優先」「安全が最高のサービス」の浸透

- (1) 「基本動作の徹底」による安全の確保
- (2) 「PDCAサイクル」による業務改善

《目標2》「安全・安心・快適な輸送」のレベルアップ

- (1) 外国からのお客様への対応強化
- (2) 主要機器の計画的な整備の実施
- (3) 専門知識の習得などによる人材育成

《目標3》仕事をしやすい環境の整備による安全性向上と効率改善

- (1) 「5S活動」の推進による改善の継続

1. 索道運転事故

2019年8月24日、藻岩山ロープウェイで搬器衝突事故が1件ありました。

2. インシデント（事故が発生するおそれがあると認められる事態）

2019年度、インシデントの発生はありませんでした。

3. 行政指導等

2019年9月14日、北海道運輸局長から索道運転事故に対する警告（口頭での行政指導）を受けました。

4. 強風・雷・大雪・その他による運休の状況

(1) 大倉山ジャンプ競技場リフト

終日運休	31日間（248時間00分）
一時運休	12日間（31時間35分）

(2) 藻岩山ロープウェイ

終日運休	38日間（442時間30分）
一時運休	21日間（84時間55分）

1. 安全統括会議及び現場巡回

(1) 安全統括会議

安全統括会議は、社長をはじめとする本社の経営層部門と現場で索道を運行する大倉山事業部及び藻岩山事業部の実務担当責任者で構成し、安全統括管理者が議長となって毎月定例的に開催しております。

この会議では、運行・整備状況の月次報告、教育・事故・トラブルに関する報告や対策を検証し、その後の状況や再発防止策を検討のうえ、改善策などを講じるほか、索道事業の安全を確保するための事業運営・設備投資・人材育成などに関する話し合いを行っております。

(2) 現場巡回

経営層による現場巡回を計画的に実施し、経営トップから安全に関わる方針などを訓示して周知するとともに、直接対話を行うことで意見・要望を収集しております。

また、安全統括会議終了後に「安全・快適パトロール」を実施し、お客様と従業員の「安全・安心・快適」に関する見直しを行いました。



藻岩山ロープウェイの現場巡回時の訓示

2. 安全教育

(1) 定期教育

定期整備に伴う営業休止期間中に、安全管理規程・運転取扱細則・整備細則の再教育や緊急停止時に備えた救助訓練を実施し、また、藻岩山ロープウェイでは、救助訓練や始業点検を動画で記録したDVDを製作して教習に活用しました。



大倉山ジャンプ競技場リフトの安全教育
(整備期間 H31. 4. 12)



藻岩山ロープウェイの安全教育
(整備期間 H31. 4. 24)

(2) フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育

北海道索道協会主催のフルハーネス型墜落制止用器具の特別教育の受講並びに整備運休期間中に、特別教育の講習を実施しました。



フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育（受講日：R1.8.21、8.22、R2.3.24）

(3) 普通救命講習

(財)札幌市防災協会や消防による普通救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用止血法）を受講しました。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



普通救命講習（実施日：H31.4.10・11）

【藻岩山ロープウェイ】



普通救命講習（実施日：H31.4.12）

3. 安全目標・安全重点施策への取組み

- (1) 基本動作を徹底するための教育訓練の実施
研修や訓練、経営トップによる現場での訓示、日常のミーティング等で基本動作を徹底するための取組みを継続しました。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



リフトからの救助用具による救助訓練
(実施日：平成31.4.12)



令和元年9月リフトミーティング

【藻岩山ロープウェイ】



救助バスケットによる救助訓練
(実施日：平成31.4.24)



予備原動機の運転訓練 (隔月ごと)

- (2) 「PDCAサイクル」による業務改善

昨年度から継続で「ヒヤリハット情報を活用した安全活動」、「安全統括会議時に実施される『安全・快適パトロール』による改善活動」を「PDCAサイクル～スパイラルアップ」により進めて、業務の改善に取り組みました。

【藻岩山ロープウェイの例】

[安全・快適パトロールでの改善]アクセス道路から山麓駅が見えないため、藻岩山ロープウェイの駐車場であることが分かりにくい。

[原因の検討]

ロープウェイ駅舎、駐車場等の位置関係を案内するものがない。

[対策の検討]

ロープウェイ駅舎、駐車場等位置関係等を明示した案内板を設置する。

[対策の実施]

案内板を設置した。(令和2年1月)



設置した案内板(山麓駅第3駐車場入口)

(3) 緊急事態発生時の外国からのお客様対策の強化

大倉山ジャンプ競技場リフトでは、実用的な英会話の研修を社員全員に対して実施し、外国からのお客様への対応を強化しました。

藻岩山ロープウェイでは、ロープウェイが緊急停止した際にご案内する為、4か国語(日本語、英語、中国語、韓国語)に対応した自動音声及び案内モニターを搬器内に設置しました。また、多くの言語で対応を行えるよう各駅に音声自動翻訳機を導入しました。



自動音声及び案内モニター（搬器内）



音声自動翻訳機（3個）

(4) 主要機器の経年劣化に対応した計画的整備の実施

大倉山リフトについては圧索装置の分解整備と電動機のオーバーホールを実施し、藻岩山ロープウェイについてはえい索の切り詰め工事と懸垂機受索輪10輪の整備を実施しました。

【大倉山ジャンプリフト競技場】



圧索装置の分解整備



電動機オーバーホール

【藻岩山ロープウェイ】



えい索の切り詰め工事



懸垂機受索輪の整備

(5) 専門知識の習得などによる人材育成

講習会や研修への参加で専門知識の習得や外国語や技術関係、夜景観光の各種資格取得を目指し、社員のスキルアップを図りました。また、社員の資格取得をより勧奨するため資格手当制度の見直しを行いました。

(6) 「5 S活動」への取り組み

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰(しつけ)」を意識する活動を継続し、毎日の仕事をしやすい環境を整えることを目指しました。

今年度につきましても、整理整頓が進まない場所など、重点箇所を明確にして取り組みを進めました。一例として、藻岩山ロープウェイでは搬器衝突事故を踏まえまして、ロープウェイの予備部品の保管状況を5Sの手法を取り入れて見直しを行いました。

4. 藻岩山ロープウェイ搬器衝突事故再発防止の取り組みの進捗状況

(1) 整備実施体制の強化について

自社内での技術力向上のため「整備マニュアル」を作成し、日常整備・指導・教育に活用し、定期的にメーカーと情報交換を行うなど、更なる技術と知識の向上を図っております。

委託作業時における作業内容の事前確認、完了確認、今後の保守アドバイス等を網羅した、完了確認検査票を作成し活用しております。

また、2019年12月、2020年1月に制御盤内の保安装置、基板4枚、リレー154個などを交換し、今後も計画的に機器類の交換を実施します。

(2) 社内安全管理体制の強化について

今回発生した搬器衝突事故を踏まえ、社内全体にこれまで以上の安全意識や法令遵守などのコンプライアンス体制を構築するため、索道部門を含めた全社員を対象に外部講師によるコンプライアンス研修を実施しました。

また、安全管理体制・整備の実施体制・教育訓練の状況などに関する内部監査を実施したほか、「事故発生時対応マニュアル」の改定を行うとともに、社員への周知を図り内外への連絡体制、実態に即した緊急時の救助・誘導訓練の定着化を引き続き行います。

(3) 専門人材の育成について

索道整備社員の更なる技術力向上を図るため、引き続き索道協会や索道メーカーが主催する研修会やセミナーへの参加、資格取得の奨励を行います。

また、教育・訓練後に実施効果の測定やアンケートを集計し、効果の浸透や課題を整理したうえで改善策に取組みます。

5. 2020年度整備計画

2020年度の主要機器の計画的な点検・整備を下記のとおり計画しました。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

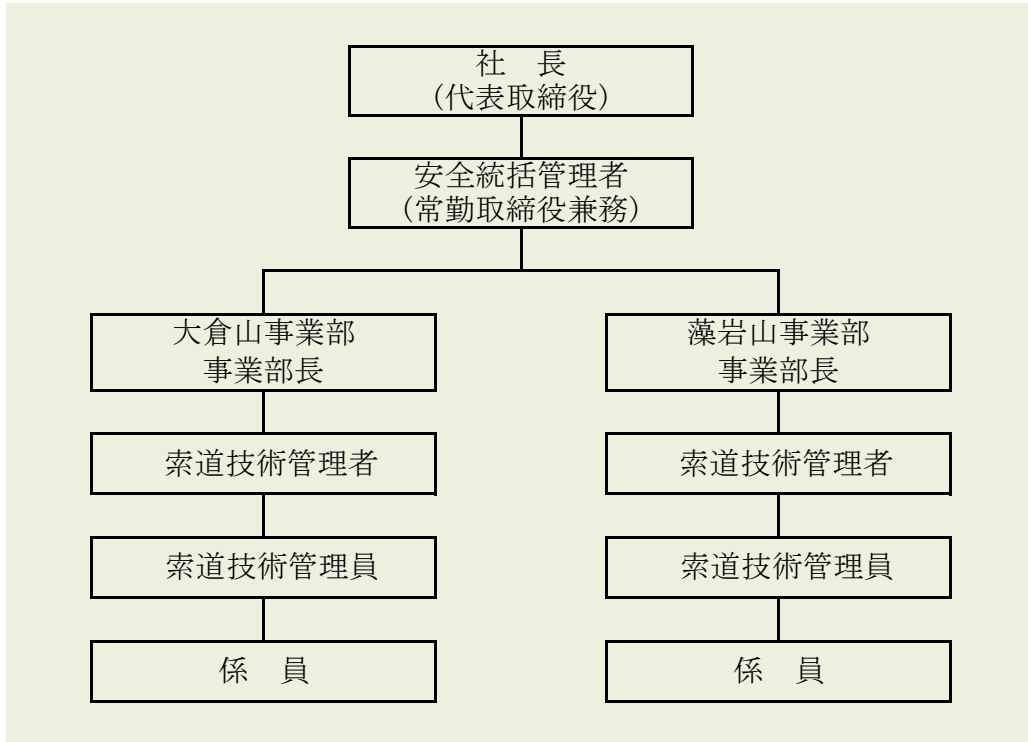
- (1) 索受装置(受索輪側)の分解整備
- (2) 脱索検出装置の更新
- (3) 制御保安点検

【藻岩山ロープウェイ】

- (1) 緊張索8本の更新
- (2) 接続装置の分解整備
- (3) 制御保安点検

1. 安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおりとし、各責任者の責務を明確にしております。



社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
事業部長	安全統括管理者の指揮の下、索道事業の輸送の安全を確保するための事業運営、維持管理、人材の育成、関係法令等の遵守に関する業務を行うとともに、安全統括管理者を補佐する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上及び教育訓練等の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補佐する。

2. ご感想・ご意見について

安全報告書へのご感想、取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

大倉山事業部 (大倉山ジャンプ競技場リフト)	TEL (011) 641-1972 FAX (011) 632-4901 HP http://www.sapporo-dc.co.jp
藻岩山事業部 (藻岩山ロープウェイ)	TEL (011) 561-8177 FAX (011) 561-8178 HP http://www.sapporo-dc.co.jp